

事業報告書

令和3年4月1日より令和4年3月31日まで

公益社団法人 全日本書道連盟

公益目的事業 1

書道に関する講演・講習会事業および地域書道団体に対する助成金給付事業

1. 講演・講習会事業

(1) 夏期書道大学講座

日 時 令和3年8月6日(金)～8月8日(日)
会 場 東京都豊島区東池袋 サンシャインシティ・コンファレンスルーム
上記のとおり開催すべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止した。

(2) 書写書道教育講演会

日 時 令和3年6月3日(木)
会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒
上記のとおり開催すべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止した。

(3) 書道講演会

「創立70周年記念事業『全日本書道連盟70年を語る 一事務局長経験者による鼎談-』と題し、3氏による鼎談会を開催した。

日 時 令和3年12月6日(月)
会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒
聴講者数 27名
登壇者 清水透石 全日本書道連盟 顧問、元 副理事長・事務局長
田中節山 全日本書道連盟 顧問、元 副理事長・事務局長
進行 辻元大雲 全日本書道連盟 副理事長・事務局長

(4) 書写書道教育確立のため、資料収集ならびに調査研究を続けている

2. 助成金給付事業

(1) 助成事業

全国書道団体の活性化、書道文化ならびに書写書道教育の充実発展に繋げることを目的とし、都道府県、市区町村等の単位で組織される書道団体が主催する講演会、講習会等の事業運営に対して助成した。

第61回全日本書写書道教育研究会全国大会(神奈川)

日 時 令和4年2月18日, 19日
会 場 横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校
鎌倉女子大学大船キャンパス
主催団体 全日本書写書道教育研究会(運営委員長:青山浩之氏)

(2) 展覧会、講習会、講演会などの事業に対する後援 142件

会員（維持団体、賛助団体、正会員、準会員）が主催に加わる事業に対し、無料で後援している。
なお新型コロナウイルス感染拡大の影響から、開催を延期または中止したものがある。

公益目的事業2

日本赤十字社への募金による社会活動への協力奉仕

(1) 助けあい募金

社会事業に役立てていただくべく、団体会員（維持団体・賛助団体）を主な対象とし、募金をお願いした。

募金協力件数 121件 募金総額 185万円

本会計から加算して200万円とし、日本赤十字社へ「事業資金」として寄託した。

相互扶助事業1

書写・書道教育推進協議会への協力事業、日本書道ユネスコ登録推進協議会への協力事業、福利厚生事業、会報発行事業、会員名簿発行事業

(1) 書写・書道教育推進協議会

同協議会構成6団体のひとつで、協議会事務局として活動に協力した。

学校教育において書写・書道の授業が確実に、充実した内容で実施されるよう、平成26年から活動を続けている。

(2) 日本書道ユネスコ登録推進協議会

同協議会発起3団体のひとつとして、活動に協力した。

「日本の書道文化」が、国際連合教育科学文化機関（＝ユネスコ）の、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（＝代表一覧表）」に記載されることを目的として、平成27年から推進運動を続けている。

(3) 文芸美術国民健康保険組合への加入

本連盟は昭和31年より同国保に団体加入しており、連盟会員で、かつ書に専従する方を対象に、同国保加入の斡旋をしている。

連盟を通じて組合に加入しているもの（令和4年3月31日現在）

組合員	93名	（前期比 -15名）
家族	65名	（同 -16名）
合計	158名	（同 -31名）

かつこ内は、令和2年度末（令和3年3月末）との比較。

書に専従していることの確認徹底、また後期高齢者医療制度により満75歳になると国保へ移らねばならないこともあり、加入者は減少傾向にある。

(4) 会報の発行 3回（第162号～164号）

(5) 会員名簿の発行（令和3年11月）

その他

(1) 令和4年3月31日現在の本連盟会員数は次のとおり

正会員 1,822名 (前期比 +92名)

準会員 56名 (同 -8名)

維持団体 16団体 (同 変わらず)

賛助団体 149団体 (同 +5団体)

かつこ内は、令和2年度末(令和3年3月末)との比較。

(2) 役員会開催 理事会4回(第178回~第181回)